

道南要素植物 4 種（ミヤマイラクサ、ミヤマカタバミ、ホザキヤドリギ、ヤグルマソウ）の新産地および北限の更新について

江別市 嶋崎 太郎

江別市 藤田 玲

筆者らは北海道では南部にのみ分布するとされる 4 種（ミヤマイラクサ、ミヤマカタバミ、ホザキヤドリギ、ヤグルマソウ）について、これまで記録されていなかった地域において自生地を確認し、かつ分布の北限を更新した。これらは貴重な記録であることからここに報告する。なお、採取した標本は北海道大学総合博物館陸上植物標本庫（以下 SAPS）に収めた。

1 ミヤマイラクサ *Laportea cuspidata* (Wedd.) Friis (図 1、図 2)

ミヤマイラクサは、イラクサ科ムカゴイラクサ属の多年草で、国内では北海道～九州に分布している（大橋ら 2016a）。北海道では渡島半島に分布するとされる（梅沢 2018）。SAPS の標本を調べたところ、福島町、北斗市、函館市、森町、厚沢部町の渡島・松山の標本が確認された。なお、伊藤ら（1994）では、渡島・松山のほか十勝？・釧路？・網走？とされているが詳細は不明である。SAPS の標本調査ではムカゴイラクサと混同されているものが何点か認められたことから、伊藤ら（1994）の分布情報も誤同定のものが含まれている可能性も考えられる。

筆者らは、せたな町および大樹町において本種を確認した。これまで両町において本種の記録はなく、大樹町の記録は十勝地方における初の確実な記録となる。

藤田は、2011 年 7 月に大樹町相川において本種を 10 個体前後確認した。確認した環境は河岸段丘上のハルニレ林床であった。2021 年 10 月に嶋崎が再訪したところ、同じ場所では見つけられなかったが、そこから 500m ほど離れた林道沿いで 5 個体確認し、標本の採取を行った。

藤田と嶋崎は、2021 年 7 月にせたな町瀬棚区において本種 3 個体を確認し、標本を採取した。生育環境は廃道となった林道



図 1 ミヤマイラクサ（大樹町） 2011 年 7 月
藤田撮影



図 2 ミヤマイラクサ（せたな町） 2021 年 8 月
嶋崎撮影